



# UP DATE



## ■ No-Dig Mexico, ISTT 総会・発表会・展示会

10月16日(月), メキシコシティ(メキシコ)にてISTT 総会が開催され, 事務局から金子事務局長, 平野国際部長の2名で参加しました。当日は28の加盟協会で, 15の協会が出席。1年間の活動報告と今後の活動計画について確認しました。

また, 10月17日(火)~18日(水)の2日間で発表会・展示会が開催されました。発表会は52件の発表があり, 我が国からは5件の発表がありました。スペイン語圏の国となりますが, 日本よりも英語が通じにくいようで, 英語~スペイン語の同時通訳対応をしながら進めているところが印象的でした。

展示会は, 各国企業・団体により42のブースが設置され, 参加者との活発な交流が見受けられました。

詳細は「海外イベント報告」(54ページ)をご参照ください。

## ■ 第34回非開削技術研究発表会

当協会技術委員会主催, (公社)日本推進技術協会後援により, 品川シーズンテラスカンファレンスにて11月7日(火)に開催しました。

今年度も継続学習制度のCPD(土木学会), CPDS(全国施工管理技士会連合会)の認定を受け, 当日は51名(会場参加31名, Web参加20名)の聴講参加がありました。

今回は海外からの2件の発表(Ian Ramsay氏(ISTT理事, UKSTT会長), Wing Chang氏(ISTT理事))があり, 全部で12件の発表がありました。全体を4つのセッション(管更生・関連技術, 非開削技術(応用), 非開削技術(設計・施工), 調査)で構成し, 当協会技術委員が各セッションの座長を務めながら進行し, 活発な質疑応答がなされました。

発表会後には同会場で意見交換会を実施し, 発表者・聴講者との交流を深めるなど, 盛況のうちに終了することができました。

## ■ 各国非開削技術協会からの来日

各国非開削技術協会より, 以下の方々来日され, 第34回非開削技術研究発表会に来場されました。

Keh-jian Shou氏(ISTT会長),

Ian Ramsay氏(ISTT理事, UKSTT会長)

Yi-Fung Wang氏(CTSTT会長)

Kai-Ping Chang氏(CTSTT副事務局長)

また, 台湾非開削技術協会(CTSTT)と, 相互の技術交流と知識の共有を促進することを目的として, 双方の機関誌を交換する旨の協定に調印しました。その後, 東京都下水道局, 東京都下水道サービス(株), 東急建設(株)のみなさまのご協力により, 落合水再生センターにおけるシールド工事現場の見学にご案内しました。

## ■ ベトナム研修会

12月12日(火)~14日(木), ハノイ(ベトナム)にてベトナム研修会を開催しました。今回で3回目の開催となり, 会員企業から10名の参加がありました。

JICAベトナム事務所, エンサ下水処理場建設現場(JFEエンジニアリング(株), 鉄建建設(株)), 管材工場(NITTA-SONG DAY), シールド材工場(KOWA GLOBAL)を訪問・見学させていただき, 非開削技術の海外展開事例を現地で学びました。

## ■ 委員会活動

### (1) 機関誌編集委員会

第22回編集委員会を10月11日(水)15時より, (公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。委員会では, 機関誌125号の概要紹介, 機関誌126号の特集記事執筆依頼などの準備状況確認を確認しました。

また, 12月6日(水)10時より, 第127号機関誌特集記事ワーキングを開催し, 特集テーマ「管内からの調査・探査・診断・清掃技術」の記事執筆依頼先, 依頼内容について検討しました。

### (2) 地下探査技術委員会

第53回地下探査技術委員会を10月27日(金)10時より(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。昨年より5月に開催している地下探査技術講習会を2024年も開催することとし, 座学講習に加えて技能講習を実施することとしました。また, 地下探査技術の認知度やニーズを確認するため, 会員アンケートを実施することとしました。

第54回地下探査技術委員会を12月8日(金)15時より(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。地下探査技術アンケートの実施, 座学講習会の問題準備, 技能講習会の概要検討, 非開削技術講習会対応について議論しました。